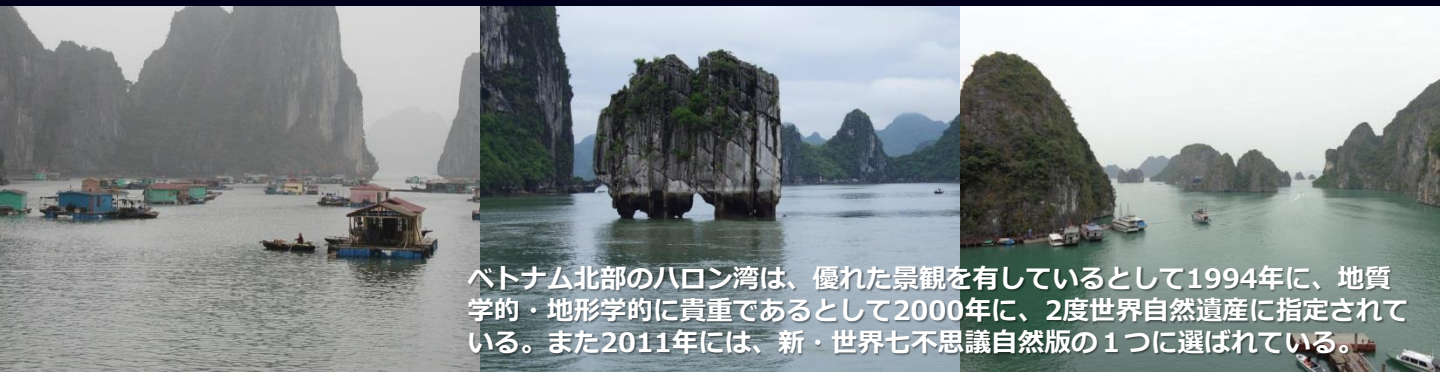


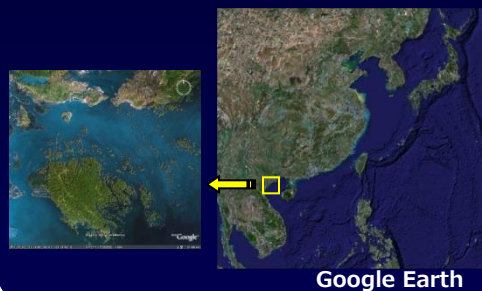
ベトナム ハロン湾における 大阪府立大学の環境活動¹

大阪府立大学現代システム科学域 / テクノオーシャン・ネットワーク (TON)



ベトナム北部のハロン湾は、優れた景観を有しているとして1994年に、地質学的・地形学的に貴重であるとして2000年に、2度世界自然遺産に指定されている。また2011年には、新・世界七不思議自然版の1つに選ばれている。

ハロン湾の位置



Google Earth

ハロン湾の環境の危機



ハロン湾周辺の環境は、石炭の大規模な露天掘りや、観光産業の急激な伸びに伴う大規模なリゾート開発により年々悪化している。しかし、廃棄物処理場や下水処理場などの整備は進んでおらず、ハロン湾の環境がますます悪化すると懸念されている。

JICA草の根技術協力プロジェクト

「ハロン湾における住民参加型資源循環システムの構築支援事業」

- 実施者：大阪府立大学および地球環境センター
- 実施期間：2009年10月 - 2012年9月
- 予算規模：約5,000万円
- 目的：水上生活者および観光船業者の環境意識を向上させ、廃棄物の減量化および有効利用システムを構築する。

「ハロン湾における海上輸送を基盤とする廃棄物循環システム構築事業」

- 実施者：大阪府立大学および堺市
- 実施期間：2013年11月 - 2016年9月
- 予算規模：約6,000万円
- 目的：バイオディーゼル燃料 (BDF) を使用した廃棄物の海上収集・運搬システムを構築するとともに、環境教育・啓発活動を行う。



生ゴミの堆肥化

水上小学校での環境授業



建造したゴミ運搬船

陸上小学校での環境授業



現地短大生との協働によるマングローブ植林



現地高校生との協働によるマングローブ植林

ベトナム ハロン湾における 大阪府立大学の環境活動₂

大阪府立大学現代システム科学域 / テクノオーシャン・ネットワーク (TON)



ベトナム北部のハロン湾は、優れた景観を有しているとして1994年に、地質学的・地形学的に貴重であるとして2000年に、2度世界自然遺産に指定されている。また2011年には、新・世界七不思議自然版の1つに選ばれている。

JST-JICA SATREPSプロジェクト

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

「ベトナムおよびインドシナ諸国における、バイオマスエネルギーの生産システム (生産・製造・利用) 構築による多益性気候変動緩和策の研究」

- 実施者：大阪府立大学、大阪市立大学、愛媛大学、森林総合研究所
- 実施期間：2011年11月 - 2016年10月
- 予算規模：約5億円
- 目的：荒廃地において非食用のバイオディーゼル燃料（BDF）原料樹種を植林し、高効率で安価にBDFを製造する方法を確立するとともに、大気・土壌汚染の改善効果や低炭素効果、経済性などの多益性を総合的に評価し、バイオ燃料普及のための政策提言を行う。



炭鉱での植林実験



BDF製造プラント



ハロン湾の客船を使ったBDF使用実験・排ガス測定



政策提言の図 (北部)

大阪府立大学大学院「国際環境活動特別演習」

- 対象者：大阪府立大学大学院生 (M2生)
- 実施期間：2011年月 - 現在
- 総派遣人数：98名 (12-13名/年)
- 活動内容：ハロン市の小中学校における環境授業、ハロン湾でのマングローブ植林、ハロン湾の水質モニタリング、ホーチミン市における大気汚染マップの作成など。



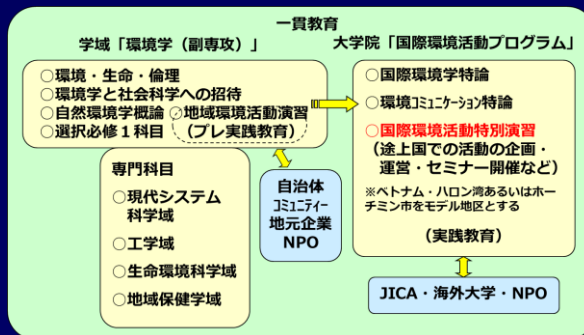
環境授業



マングローブ植林



水質モニタリング



国際環境人材育成プログラム全体の概要